

[横浜市旭区民文化センター]
平成28年度事業計画書
[相鉄・神奈川共立 共同事業体]

施設の概要

施設名	横浜市旭区民文化センター サンハート
所在地	横浜市旭区二俣川一丁目3番地
構造・規模	鉄骨コンクリート造 地下1階地上6階建の、地上5階および6階の一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,564㎡
開館日	平成2年8月4日

指定管理者

法人名	相鉄・神奈川共立 共同事業体 代表構成団体 株式会社相鉄エージェンシー
代表団体所在地	横浜市神奈川区栄町5番地1
代表団体代表者	代表取締役 三浦彰久
代表団体設立年月日	昭和58年1月22日
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

1 基本方針

(1) 基本的な方針

◆地域文化創造をリードする “Advanced Center” へ

横浜市の区文第一号施設として、当事業体が管理運営する文化施設の手本として、これまで以上に地域に根付き、市民一体となった活動を中心とします。他の文化施設に先立って、市民参加や地域活性を促し、次代に向けた子どもや若者たちの育成を行い、さらには区内の他文化施設との協力で、施設従事者のレベルアップも牽引。市民文化のレベル向上に寄与できる区文のリーダー的な位置づけを目指します。地域文化の牽引役となることで、地域の自慢、地域への愛着を増幅させられる施設となります。

＜“Advanced Center” 実現のための3つのミッション＞

- ①幅広い市民からの共感獲得…多くの市民へ良質な文化芸術の提供と、アウトリーチによる社会的包摂のさらなる推進。
- ②若年層の利用拡大…新規利用者の開拓と、世代にあったアプローチの積極的实施。
- ③地域・他施設との積極的な連携…連携事業による施設・地域が一体となった活性化と相互レベル向上に向けた取り組みの積極的实施。

(2) 平成28年度の位置づけ

1. 事業の方針

これまで継続してきた事業の趣旨や方向性を改めて見つめなおし、各事業における達成目標と実施方法の明確化に取り組みます。良いものはさらに改善すべき点がないか改めて熟考し、課題が見つかった場合は、速やかに方向転換し、より良い事業実施に向けての始動の年とします。

① 交流創造型事業の進化展開

当事業体の大きな成果のひとつに、ワークショップなどの交流創造事業があります。市民の文化活動のきっかけづくりとして始まり、その後持続的な活動に発展させている市民が続出。さらには参加者同士の交流でコミュニティ活性化にも繋がっています。また、ワークショップ終了後は、発表の場にホールを利用する、ボランティアとして施設運営に係るといった好循環も見られます。今後は、そのような好循環を積極的に後押しする仕組みを始動し、「人材育成活用事業」として進化させてまいります。

- 演劇ワークショップ修了生・・・チケットやプログラム配布を担当する「サポートスタッフ」として
- 絵本の読み聞かせ講座修了生・・・定期的に「おはなし会」を主催し、また館外への派遣依頼にも応じる「読み聞かせボランティア」として
- ジャズクリニック修了生・・・定期的な施設利用者やサンハートの情報発信サポーターとして

② 施設外への積極的な発信

ワークショップ・オーディション卒業者のアウトリーチでの活用や他施設事業への派遣等含め、地域内外の活動や、文化イベント・芸術祭等への参加など、サンハートから積極的に外に向かう活動に取り組み、サンハートの発信力を強めます。

- 既存の派遣先とのさらなるつながりと、新規開拓・・・区内のコミュニティスペースや障がい者施設、保育園、学校などへ音楽家や読み聞かせボランティアを積極的に派遣。既に派遣経験のある施設のみならず、需要のある施設の新規開拓に力を注ぎます。
- 派遣事業の積極的な PR・・・ホームページに専門のページを設け、派遣方法について具体的に発信。また、地域の様々な団体との接点を増やし、派遣事業についての糸口を模索します。
- 人材共有の仕組み作り・・・絵本の読み聞かせボランティアの派遣について、定期的に受け入れを実施いただいている施設とは、「人材共有」の仕組みを確立し、よりスムーズな運営を実現します。

③ 地域・他施設との新しい連携事業

自治会・商店街等との連携はもちろん、区内の他文化施設や、他区の区民文化センターとも連携を強めるなど、地域・他施設との連携を旭区民文化センターがリードして、地域の課題の共有やその解決を目指します。

- 自治体・商店街との連携・・・2015 年度に初めて開催された「旭区落語まつり」へ、一歩進んだ形での協働体制を構築。互いにメリットのある関係を築き、今後の事業展開へ繋がります。
- 他文化施設・文化団体との連携・・・「演劇ワークショップ」では、「旭ガイドボランティアの会」との企画連携を行い、旭区の魅力発見という趣旨を追加し、深みと広がりのある企画へと発展させます。
- 他区民文化センターとの共催・・・サンハート独自の企画を、他区文センターとの共催という形へ発展

させ、参加者や観客により魅力的なコンテンツを提供します。

2. 運営の方針

<顧客満足度の高いサービスの提供>

「施設を利用できる時間」、「情報提供」、「利用相談への対応」、「利用者支援」など、利用者・来場者の立場に立ったユーザビリティの高い施設運営を行い、顧客満足度を高めます。

<レベルの高い接客・接客>

安心と信頼の獲得のために、「職員の接客・接客」に関する研修を行い、職員一人ひとりの“顔”が見える施設を目指します。

<ニーズの把握の徹底と改善への反映>

利用者・区民の声を収集する機会としてアンケート（共同事業体本社バックアップによる）を定常的に実施すると共に、利用者懇話会・各種団体との合同連絡会への参加等を通して利用者と共に課題の抽出や改善に取り組みます。

3. 管理の方針

<二俣川駅北口共同ビル管理組合との一体管理>

構成団体である相鉄企業は二俣川駅北口共同ビルの管理組合事務業務と建物維持管理業務を併せて受託しているという利点を活かし、更なる効率的な管理を追求しコストパフォーマンスの高い維持管理を実現します。

<施設予防保全の実現>

「今、施設や設備がどのような状態か」を踏まえて「今後施設や設備はどうなっていくか」について、将来を見据えた予防保全（中長期修繕計画・設備機器更新計画の策定・提案）に取り組みます。

2 自主事業に関する計画（事業フレーム等については【別紙1】に記載）

(1)文化事業の企画および実施について

事業カテゴリーは、大きく「鑑賞事業」と「機会提供事業」に2分、さらにそれぞれを分類し、合計5つのカテゴリーに分けて計画、実施いたします。

鑑賞	[取組内容]	[達成指標]
	●一流の芸術家による個性的な公演事業 □ トップレベルのアーティストによるサンハートならではの個性的な公演。 □ 大人向けを基本とし、鑑賞をじっくりと楽しんでいただく、特別感のあるコンテンツ。	□ 300席という限られた空間だからこそ、出演者と観客との距離が近く、一体感を感じられるというホール魅力を、存分に感じられる演出を工夫します。 □ 参加者を対象としたアンケートを引き続き実施し、寄せられた意見を事業に反映し、満足度 80%以上を目指します。
	●普段着の芸術鑑賞 □ 身近で気軽に芸術に触れられる機会を提供。	□ 館に足を運ぶ事のできない方々へ向けた「アウトリーチ」事業の充実化を図ります。

	☐ どなたにも楽しんでもいただけるように低価格で良質なコンテンツを提供いたします。駅や商店街など、館外でも展開。	☐ 平日買い物ついでに参加できるようなクラシックコンサート「ワンコインコンサート」を始動し、イベントの認知度向上に務めます。
機会提供事業	●サンハートオリジナル ☐ サンハートの育成・交流創造事業としてスタートしたワークショップやオーディション型の事業。 ☐ サンハートの顔として、館内公演やアウトリーチ活動にも積極的に参加します。	☐ 人気企画「演劇ワークショップ」を、旭区・サンハートでしか体験できない特別プログラムへと進化させます。 ☐ 「アンサンブルオーディション」入賞者を「サンハートレジデントアーティスト」として広く告知宣伝し、サンハートから館外への発信力を高めます。
	●私たちのホール ☐ 市民が企画や運営に参加するコンテンツ。 ☐ 事業参加をきっかけとした参加者同士の出会いや交流の場の創出。 ☐ 事業終了後も参加者が活動を継続できる仕組みを作ります。	☐ 「すくすくキッズプログラム」への参加団体（指導者）を募集し、共に事業を盛り上げ、さらに、これからの継続的な利用へと繋がります。 ☐ これまで「区民企画」の一環として実施してきた「名画座」を、独自の企画として新体制での運営を行います。 ☐ 企画参加者としてサンハートに関わりを持った方々を中心に「サポートスタッフ」としてサンハートの運営へ携わっていただく仕組みを継続します。
	●シーズンイベント（その他） ☐ 空き施設の有効活用を目的とした企画や季節に合わせたイベントなど、幅広い市民に向けた多分野にまたがるコンテンツ。	☐ ホールの時間貸し（ピアノ練習）を行い、施設の有効活用と収入向上に務めます。 ☐ 季節感のある事業、時代感に合ったコンテンツを提供します。

（2）地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進

[取組内容] ● 地域内の対象施設へダイレクトアプローチを行い、隠れた需要の掘り起こしに務めます。 ● 未就学児（特に未就園児）とその親の活動の場としての需要をさらに広げ、地域コミュニティの形成へと繋がります。	[達成指標] ☐ これまで「要請」を受けてから企画提案を行う「受注型」だったアウトリーチから、より積極的な「企画開発型」へと進化させ、新規アウトリーチ先を増やします。 ☐ 人気企画「すくすくキッズプログラム」や「おはなし会」の実施回数および固定客を増やし、さらに参加者同士のつながりを広げられるような工夫をします。
--	--

（3）市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成及び文化的コモンズ形成の牽引

[取組内容] ●ともに作る:「区民企画委員」の仕組みを継続します。 ●ともに進める:「運営サポーター」の仕組みを継続します。 ●ともに育つ:サンハート主催事業から派生した取り組みについて、地域文化に大きく寄与する活動を「共催事業」と位置付け、独自の運営サイクルを確立するまで積極的に支援します。 ●ともにつながる:サンハートが地域のためにできることを、利用者・市民・地域・関連団体等でともに検討し、地域課題を解決するアイデアを事業化するプロジェクトを、サンハートが主体となって、地域をリード推進します。	[達成指標] □ これまで継続事業の多かった「区民企画」において、新規事業の開発に取り組みます。 □ 「運営サポートスタッフ」を増員し、またサポートスタッフ同士の交流や理解向上に向けた研修を実施します。 □ 共催事業を通じて、ホールの将来的な利用者増加に向けた取り組みを工夫します。 □ 30周年記念イベントに向け、長期的視野のもと、企画検討を開始します。
---	--

3 施設の運営に関する計画

(1)顧客満足度の向上について

[取組内容] ◆利用者サービスのさらなる向上に努め利用者ニーズに合わせたサービスを増やします。 ◆アンケートやヒアリング等から区民・利用者のニーズを的確に把握します。 ◆サンハート友の会を継続し、会員へのサービス向上と共に強力なサポーターとしての関係作りを図ります。	[達成指標] □施設利用者の発表会を広報支援し、直近のホール・諸室の空き状況を情報コーナーに発信する等により顧客満足度を向上させます。 □各年実施の利用者アンケートや自主事業等の来観者アンケートをはじめ、ヒアリングの随時実施と年1回利用者懇話会を開催して、ご意見・ご要望を的確に把握してサービス向上に努めます。 □改めてサンハート友の会の会員登録を行い、会員からの声を次年度の事業へ反映させる等施設のサポーター的存在として会の運営を行います。また、会員特典の充実等を図り、会員数増をめざします。
--	--

(2)的確な施設提供の実現について

[取組内容] ◆効率的且つ安定した施設の開館・運営を行います。 ◆利用者アンケートや利用者懇話会からの声を基に満足度向上・利用促進を図ります。	[達成指標] □開館日数 345日 休館日 20日 年末年始 12月29日～1月3日 施設点検・消防設備点検 14日 □様々な媒体を活用し、施設のPRを充実させ稼働率向上に努
---	---

◆施設利用者へ専門的な利用方法等効果的なアドバイスを行います。 ◆周辺施設と連携して地域全体の賑わい作りに貢献します。	めます。 □舞台技術を含め、専門性をもった職員が常駐して、利用者からの相談・下見・利用打合せをはじめ、トラブル等緊急時にも迅速に対応します。 □二俣川ライフ、二俣川駅周辺商店街、二俣川駅、並びに相鉄線全駅との連携事業を展開していきます。 ※グリーングリーンは平成30年3月末まで改装工事中。 □ロビーコンサートを引き続き実施すると共に、施設有効活用について区民からアイデアを募集します。 □予約システムで閲覧できない、直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き情報を更新し、施設内に発信します。
◆施設を有効活用し、施設の魅力作り・活性化を図ります。 ◆利用者へ施設のホール・諸室の空き情報をリアルタイムで広く発信します。	

(3)的確な広報の展開について

[取組内容] ◆地域・区民の文化芸術情報発信拠点としての役割を担います。 ◆情報の内容により、最適な媒体・手段により、効率的な広報・宣伝活動を実施します。	[達成指標] □情報コーナーでは、文化芸術資料として、雑誌・図書・情報誌を設置するほか、類似の他施設情報の紹介を行うなど様々な文化芸術情報を得る事ができるスペースとして整備します。 □毎月の催し物案内発行、ホームページのリアルタイム更新をはじめ、当事業体ならではの媒体(交通広告・広報紙等)を有効に活用しPRを行います。
--	---

(4)専門性と区民の力を統合する組織づくりについて

[取組内容] ◆事業企画・施設管理・舞台技術の経験・実績豊かな職員・専門スタッフと、区民をはじめとした地域スタッフを配置し、全ての職員が適切なコスト感覚、効率的な管理とホスピタリティ精神をもった運営を行います。 ◆職員・スタッフの施設運営スキルアップのために研修を実施します。	[達成指標] □以下の通り人員を配置し運営します。 【運営スタッフ】※2交代、常時2名以上配置 館長 1名 副館長 1名 職員 5名 【舞台技術】※利用状況により2～4名 職員 4名 【受付スタッフ】 カルチャースタッフ12名(地域採用) □機材研修、個人情報研修、消防訓練等を実施し、運営に役立っています。
---	---

4 施設の管理に関する計画

利用者が安心して利用できるよう快適な環境作りを目指し、安全性、防犯性について最大限の配慮をします。

サンハートは開館から26年を迎え、設備全体が老朽化してきています。それらの状況を踏まえた上で、施設の

運営に支障をきたさぬよう維持管理に努めます。

(1)安全で効率的な維持管理・予防保全について

[業務内容]	[達成指標]
◆安全・安心できる施設の維持 ◆定期的な設備点検 ◆必要に応じた緊急点検 ◆施設設備の予防保全	☐ 設備等保守管理項目を遵守し、定期的な施設点検を実施します。 ☐ 老朽化した建築、設備のリスクマネジメント評価を行い、修繕計画の適正化を図ります。 ☐ 月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年1回行います。

(2)快適な環境の維持管理について

[取組内容]	[達成指標]
◆安心できる環境の維持	☐ 清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施します。 ☐ 美観を維持するよう取り組みます。 ☐ 環境に配慮し、廃棄物の発生抑制に努めます。 ☐ 空気環境測定(VOC等含む)を実施します。 ☐ 社内による、業務の品質管理点検を実施し、特別清掃・日常清掃の計画を策定します。 ☐ ヨコハマ3R 夢など市の施策や事業に協力します。 ☐ 空気環境測定結果の報告書を作成します。

5 その他の計画

(1)危機管理対策について

[取組内容]	[達成指標]
◆緊急時の対応 ◆利用者の安全・安心を確保 ◆防災管理	☐ 緊急内容別(事故、犯罪、火災、設備故障など)に連絡網の整備を行います。 ☐ 大規模災害等が発生した場合は、行政機関との連絡・協力を円滑に行えるよう訓練等を通じて体制を整えます。 ☐ 平成24年度に作成した「帰宅困難者一時滞在施設」としての運用マニュアルに基づき訓練を実施し、緊急時に備えます。 ☐ 緊急時の連絡網を作成するとともに旭区役所へ提出します。 ☐ 近隣在住職員をあらためて確保します。 ☐ 事故、犯罪及び火災等を発生させない為に、職員による定時巡回を実施します。 ☐ 消防計画書を作成します。

	自衛組織を結成し、日常の防火・防災に努めます。 催事の際は、避難導線の確保等の指導を行います。 消防計画書および緊急時対応マニュアルに基づき年2回防火・防災訓練を実施します。
--	--

(2) 自己評価・PDCAサイクルの活用について

[取組内容] ◆日報及び月報の作成・管理(業務記録の整備) ◆業務計画書及び業務報告書の作成・管理(利用者のニーズや声を反映した業務計画の策定) ◆モニタリングの実施(モニタリングへの対応・体制の整備) ◆自己評価の実施(PDCAサイクルの導入と確実な運用)	[達成指標] □業務記録の適正な作成・保管と共に重要な件に関して随時報告をおこないます。 □PDCAサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取組みます。 □業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築します。 □利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取組みます
--	--

6 収支について

(1) 経費削減の努力について

[取組内容] ◆管理運営コストの削減に努めます。	[達成指標] □無駄な光熱水費の削減と、業務効率化等による無駄なコストの削減に努めます。但し、利用者の満足を阻害するようなサービス低下につながる必要コストの削減はしません。 □軽易な修繕については職員自ら行い、修繕費を有効に活用します。
--	---

(2) 収入向上の努力について

[取組内容] ◆収益向上、適正な受益者負担を設定し、外部資金獲得に努めます。	[達成指標] □ホール・諸室の空き状況をホームページにてリアルタイムに公開し、収益の向上を図ります。 □魅力的な事業を実施し、入場料収入を最大限に確保します。 □事業協賛金、物品提供(飲料メーカー、菓子メーカー)、広告収入等の確保に努めます。
--	---

(3) 収支予算書

項 目	予算額	備 考
収入		

指定管理料収入	105,759,000	
利用料金収入	31,515,000	
事業収入	5,400,000	
その他収入	1,724,000	
収入合計	144,398,000	

支出		
人件費	67,368,000	
事務費	4,899,000	
事業費	8,900,000	有料企画:6,660,000 円 / 無料:590,000 円 一部有料:210,000 円 / その他:1,440,000 円
管理費	58,619,000	
公租公課	12,000	
事務経費	4,600,000	
支出合計	144,398,000	
収支差額	0	

【別紙1】

【自主事業フレーム】

1. 鑑賞事業	一流の芸術家による事業	「スペシャルライブ」
	普段着の芸術鑑賞	「あさひ亭まねき寄席」「ワンコインコンサート」 「ジャズセッション」「アウトリーチ」
2. 機会提供事業	サンハートオリジナル	「演劇ワークショップ」「レジデントアーティスト」 「サンハートアンサンブルオーデション」
	私たちのホール	「読み聞かせサポーターによるおはなし会」 「すくすくキッズプログラム」「美音倶楽部」 「サンハート運営サポートスタッフ」「区民企画委員」
	その他シーズンイベント	「オープンデー」「ホールでピアノを弾いてみよう」 「夏休み子ども講座」「避難訓練コンサート」

【自主事業一覧】

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込	事業費
1-1	3 月	スペシャルライブ	ホール	人気 No. 1 ジャズドラマ 一大坂昌彦をはじめ、人 気ミュージシャンによる この日限りの特別プログ ラム。	300 人	1,000,000 円 (925,926 円)

2-1	計 3 回 (6・9・1 月)	あさひ亭 まねき寄席	ホール	著名な真打ちや若手落語家による公演。9 月は、旭区落語まつりと連携し、盛大なフェスティバルを行う。	900 人	900,000 円 (833,333 円)
2-2	計 8 回 (5・7・10・3 月、一日二回公演)	ワンコイン コンサート	ホール 音楽ホール	若手音楽家によるクラシックアンサンブルのコンサート。一日二回公演で、午前の部は乳幼児も参加可能とし、誰もが気軽に音楽に触れられる機会を提供する。	1000 人	350,000 円 (324,074 円)
2-3	10 月	えほんコンサート	ホール	未就学児やその親を対象とした映像とピアノと朗読によるコンサート。横浜在住のピアニスト兼作曲家である西本梨江さんにご出演いただく。	400 人	250,000 円 (231,481 円)
2-4	計 10 回 (学校 4 回 福祉 3 回 その他 3 回)	アウトリーチ	旭区内 各所	小学校や福祉施設等へ、出前コンサートやワークショップを届ける。オーディション受賞者への演奏機会提供の場も兼ねる。	500 人	350,000 円 (324,074 円)
3-1	計 12 回 9～11 月	演劇 ワークショップ	ホール カルチャー 工房	講師に文学座の松井工、特別講師に横浜夢座の五大路子を迎え、演劇を通じたコミュニケーションのスキルアップを目指したワークショップ。	300 人 (40 人)	900,000 円 (833,333 円)
3-2	計 2 回 (9・12 月)	JAZZ セッション	ホール	人気のジャズミュージシャンのライブに加え、希望者は飛び入り参加して、プロのミュージシャンとのセッションができる。	500 人	1,100,000 円 (1,018,519 円)
3-3	10 月	サンハートアンサンブルオーディシ	ホール	地域のアマチュア音楽家や近隣の音大生を対	100 人 (30 組)	320,000 円 (296,296 円)

		ョン／レジデント アーティスト		象に、器楽を中心とした アンサンブルのオーディ ション。入賞者は、主催 事業での出演機会提供 の他、アウトリーチ事業 への参加アーティストと して、地域へ積極的に 広報を行う。		
4-1	通年 (月 1 回)	読み聞かせサポ ーターによる「お はなし会」	ホール ロビー	未就園児とその保護者 を対象とした絵本の読 み聞かせ会。サンハート の読み聞かせ講座を修 了した「読み聞かせサポ ーター」が企画運営を担 当する。館外からの依 頼も積極的に引き受け、 絵本の読み聞かせを通 じた地域貢献を目指す。	500 人 (30 人)	100,000 円 (92,593 円)
4-2	通年 (月 1 回)	すくすくキッズ プログラム	ホール	乳幼児を対象に、初め て音や絵と触れ合う機 会を提供。すくすくキッ ズディレクターを募集し、 ディレクターとサンハート との共催の運営とする。	200 人 (12 団体)	100,000 円 (92,593 円)
4-3	通年 (月 1 回)	美音倶楽部	会議室 音楽ホール	サンハート独自の真空 管アンプを使った会員制 のレコード鑑賞会。年に 2 回は、音楽ホールにて 一般の方も対象とした 鑑賞会を行う。	200 人 (20 人)	60,000 円 (55,555 円)
4-4	通年	運営サポーター	ホール		1000 人	100,000 円 (66,666 円)
4-5	通年	区民企画委員	ミーティン グルーム等	区民の目線を通してサ ンハートならではの企画 をプロデュース。「バレン タインコンサート」と「名 画座」の企画運営を行 う。	600 人 (5 名)	1,000,000 円 (925,926 円)

5-1	7 月	オープンデー	全施設	全館で無料や低価格のイベント、さらに市民参加型の催しを行い、普段サンハートを利用しない方や家族連れが気軽に施設に立ち寄っていただくきっかけを提供する。	1000 人	210,000 円 (194,444 円)
5-2	通年	ホールでピアノを弾いてみよう	ホール 音楽ホール	サンハートホールや音楽ホールのフルコンサートグランドピアノを1時間単位で試演できる企画。	300 人	80,000 円 (74,074 円)
5-3	8 月	夏休み子ども体験講座(ハンドベル／映画作り)	ホール 音楽ホール カルチャー 工房 ミーティング ルーム	夏休みの数日間～1週間、サンハートに集まった小中学生で一致団結し、集大成となる催し物を開催する。(ハンドベル発表会／ショートムービー上映会)	200 人 (50 人)	600,000 円 (555,555 円)
5-4	5 月	避難訓練コンサート	ホール	コンサート最中に非常事態が発生した事を想定し、避難訓練を目的としたコンサートを実施する。消防署やビルマネジメントにも協力いただく。	150 人	40,000 円 (37,037 円)
6-1	通年	サンハート友の会		固定顧客層への優遇体制を整え、顧客満足度向上を図る。	115 人	0 円
6-2	通年	備品購入 郵送費		チラシ用のカラーペーパー購入費や、他館へのチラシ発送代など。		960,000 円 (888,889 円)
6-3	通年	取材 打合せ諸経費		その他諸経費		480,000 円 (444,444 円)

合計： ￥8,900,000

※入場見込数について

基本的には来場者数を記載していますが、ワークショップ型のイベントなど、観客以外にイベント参加者が見込

まれる場合は、参加見込数を括弧内に記入し、一般観客数を入場見込数として表示しています。

※事業費について

括弧内は税抜価格を表示しています。

※オープンデーについて

オープンデーの一環として、親子コンサート(ワンコインコンサート)と名画座(区民企画)を実施します。各事業の経費にはオープンデーの回の分も含めた金額が計上されているため、オープンデーの経費としては、上記二件は含めていません。ただし、来場者数については、延べ人数とするため、双方のCATEGORYにそれぞれ計上しています。

平成28年度 「旭区民文化センター」 収支予算書兼決算書

収入の部							(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料	105,759,000		105,759,000		105,759,000	横浜市より	
利用料金収入	31,515,000		31,515,000		31,515,000		
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	308,000		308,000		308,000		
自主事業収入	5,092,000		5,092,000		5,092,000		
雑入	1,724,000	0	1,724,000	0	1,724,000		
印刷代	304,000		304,000		304,000		
自動販売機手数料	626,000		626,000		626,000		
駐車場利用料収入			0		0		
その他（ ）	794,000		794,000		794,000		
収入合計	144,398,000	0	144,398,000	0	144,398,000		
支出の部							
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費	67,368,000	0	67,368,000	0	67,368,000		
給与・賃金	67,368,000		67,368,000		67,368,000		
社会保険料			0		0		
通勤手当			0		0		
健康診断費			0		0		
勤労者福祉共済掛金			0		0		
退職給付引当金繰入額			0		0		
事務費	4,899,000	0	4,899,000	0	4,899,000		
旅費	72,000		72,000		72,000		
消耗品費	300,000		300,000		300,000		
会議賄い費	86,000		86,000		86,000		
印刷製本費	852,000		852,000		852,000		
通信費	684,000		684,000		684,000		
使用料及び賃借料	210,000	0	210,000	0	210,000		
横浜市への支払分	210,000		210,000		210,000		
その他			0		0		
備品購入費	1,452,000		1,452,000		1,452,000		
図書購入費	260,000		260,000		260,000		
施設賠償責任保険	226,000		226,000		226,000		
職員等研修費	200,000		200,000		200,000		
振込手数料	6,000		6,000		6,000		
リース料	492,000		492,000		492,000		
手数料	0		0		0		
地域協力費	59,000		59,000		59,000		
事業費	8,900,000	0	8,900,000	0	8,900,000		
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	308,000		308,000		308,000		
自主事業費	8,592,000		8,592,000		8,592,000		
管理費	58,619,000	0	58,619,000	0	58,619,000		
光熱水費	14,569,000	0	14,569,000	0	14,569,000		
電気料金	8,627,000		8,627,000		8,627,000		
ガス料金	2,916,000		2,916,000		2,916,000		
水道料金	3,026,000		3,026,000		3,026,000		
清掃費	0		0		0		
修繕費	2,700,000		2,700,000		2,700,000		
機械警備費	0		0		0		
設備保全費	41,350,000	0	41,350,000	0	41,350,000		
空調衛生設備保守	17,498,000		17,498,000		17,498,000		
消防設備保守	0		0		0		
電気設備保守	0		0		0		
害虫駆除清掃保守	0		0		0		
駐車場設備保全費	0		0		0		
その他保全費	23,852,000		23,852,000		23,852,000		
共益費	0		0		0		
公租公課	12,000	0	12,000	0	12,000		
事業所税	0		0		0		
消費税	0		0		0		
印紙税	12,000		12,000		12,000		
その他（ ）	0		0		0		
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	4,600,000	0	4,600,000	0	4,600,000		
本部分	4,600,000		4,600,000		4,600,000		
当該施設分	0		0		0		
二一ズ対応費	0		0		0		
支出合計	144,398,000	0	144,398,000	0	144,398,000		
差引	0	0	0	0	0		
自主事業費収入	5,092,000			0			
自主事業費支出	8,592,000			0			
自主事業収支	△ 3,500,000			0			
管理許可・目的外使用許可収入	626,000			0			
管理許可・目的外使用許可支出	210,000			0			
管理許可・目的外使用許可収支	416,000			0			